

Q 6. 評価・成績について

A 6. 前期成績は10段階評価だが、後期は5段階評定も加わる。大学受験に必要なのは5段階評定なので単純に、10と9→5、8と7→4、となる。観点評価は、ABCの3段階。

③クラスの様子（クラス担任より）※E組は担任不在

A組：入学時からすぐに打ち解けて良かったが、今の時期は慣れてきて、少し気持ちのだれが見えてきている。

D組：22期の中で一番おとなしいクラスかもしれない。担任は体育の教科担任だが、生徒はアンチ体育会系。しかし、おとなしいながらも自己主張はできている。

<個性化コース BC組> : 長谷見先生、五十嵐先生

① 生活について

- ・B組に4名、C組に3名の後期生が入学。迎える会を企画、開催。良いスタートがきれた。
- ・模擬試験などは上の学年よりも上を行っている感じ。その反面「かなそう」らしい失敗をする、気を付けなければいけない生徒がいる。「かなそう」らしい失敗とは、自由を履き違えてしまうこと。先輩から「10回まで休んでよい」など言われているが、そんなことはなく、授業はしっかりと受けること。担任の先生には生徒の授業状況がわかる。心配な場合は担任に聞いてほしい。
- ・文化祭は企画、期間、規模が大きく力を入れている学校。生徒が一生懸命やっている。ただ、HRクラスで行動する機会が少ない中で、学年が上がると部活や有志での活動で忙しくなることが多くなり、来年以降はクラス単位での催しが減ってしまう傾向もある。

②履修について

- ・入学時に出した3年間の履修計画と同じ生徒はいない。方向性が変わり、それに応じて選択が変わってくる。大事な時期なので、卒業したら何をしたいかなど、家庭でも相談してほしい。
- ・いろいろな科目があるのが「かなそう」の魅力。ただ、人数が2~3人しか希望がない科目は閉講せざるを得ない。講師を呼ぶのは大変だしお金もかかる。履修計画をもとに授業を確定し、人数を出して県に提出。許可をもらい、講師を確保するというとても大変な作業。実際の計画書を出すのは3月だが、その時に「やっぱり、これ受講するのをやめた」ということは絶対にしないほしい。

③研修旅行について

- ・研修旅行の日程は、文化祭が終わって直ぐの為、大変な負担が掛かるが協力いただきたい。
- ・パートナー校交流はやる気。ドイツ、フランスは授業を受けている生徒だけだが、アメリカ、イギリスは誰でもOK。ぜひ挑戦してほしい。

④フィールド発表について

- ・3月のフィールド発表はフィールド科目を取っている生徒たちの一年間の結果。関係ないから、ではなく、発表を観て他の生徒たちのやっていることに刺激を受けてほしい。

⑤GTEC・英語資格について

- ・今回学校で受けたGTECはオフィシャルのスコアとして認められるものではない。大学等で使用したい場合はベネッセの公式のものを個人で受験する。このGTECは22期から3年間受ける。伸び率などで今後の指導などの参考に。返却時にはベネッセよりフィードバックも用意されているとのこと。結果だけではなく、それをしっかりやることでさらに力が伸びる。
- ・英検など早いうちに高い級を受けてほしい。3年の秋では推薦などに間に合わない。
- ・TOEICやTOEFLなど適用する資格が大学によって違うので、個々に確認してほしい。

⑥出席状況について

- ・遅刻が多い。学年が上がると増える。履修には響かないが、遅刻するとその後の授業に影響がでる。電車等の遅延で遅延証を持って来るが、5分10分の遅れならば…5分10分早く家を出るべき。
- ・授業はしっかり出ているが、行事やHRの欠課が多い場合は卒業をさせない場合がある。行事等で学校に行った場合はしっかりと、担任に自分が登校していることをアピールして。

⑦質疑応答

Q 1. 子供たちに向けての進路説明はあるか？

A 1. 2月に卒業生と未来を語る会がある。18期の大学進学の子が講師。教師とは違う立場での話になるので参考になると思う。他にもいろいろと定期的に開催している。

<国際文化コース GH組> : 岡西先生、片山先生

①前期を終えての所感

- ・入学から半年、いい意味でも悪い意味でも神奈総生になってきた。いい意味は、個性を活かして意欲的に学習や行事に取り組んでいる。特に翔鷗祭ではそれが顕著にあらわれた。

悪い意味（気になる点）は、生活面での乱れ。入学当初は見られなかった（安易な）遅刻・欠席が増えて
いる。本校はHRでの授業ではないので、自分での意識が大事。3年次進路・卒業に関わってくるので、緊
張感をもって授業に取り組んでもらいたい。

・学習面も入学当初と比べて下降気味の生徒も見受けられるので、現状に甘んじないで意欲的に取り組んで
もらいたい。家庭でも声かけを。

②後期の予定説明

・11/1(火)は開校記念日だが、授業時間の確保のため通常通り登校。

③質疑応答

Q 1. 学校で体調が悪くなってその後の授業が受けられない場合の連絡は？

A 1. 担当教科の先生又は担任に連絡。（無断欠席のままにしない。）

Q 2. 最近木曜のLHRが時間通りに終わらない。その後の予定もあるので、事前に連絡はもらえないもの
だろうか？

A 2. 週1回なのでそこで行事をやる事が多いのでどうしても時間が押してしまう。用事がある場合は
申し出てほしい。

Q 3. SNSの利用について、行事等があると深夜までLINEのやりとりがあり、就寝時間が遅くなってしまい翌
日に影響が出る。学校ではどのように指導しているか？

A 3. 学校でも声かけして注意を促しているが限界あり。あまりにも酷いようなら、部活なら顧問、行
事なら担当の先生、又は担任へ相談。

<国際文化コース F J組> : 北島先生、星野先生

①F組の様子（北島先生より）

- ・タイと中国から2名の転入生あり。両方女の子。
- ・クラスは団結して翔鷗祭も終わり、皆元気に過ごしている。
- ・成績は悲喜こもごも
- ・これからはやる事と、やらなくて良い事を個人で見極めて過ごすようにしないといけない。

② J組の様子（星野先生より）

- ・22期で唯一、文化祭出店ができなかった。
- ・22期中で一番出入りが激しいクラスでもあり、既に2名が海外に留学しており、1人はカタールでもう1
人はタイに行った。
- ・国際文化コースだけに帰国組が多く、親のネットワークが今後も大切。
- ・後期入学で新入生が男子2名、女子1名がクラスにやって来た。

③学習について

- ・後期から躓く子が多いので、日頃の予習と復習を大切にしたい。
- ・いくら口でやっていないと言っても、勉強する子はキチンとしているので惑わされないで。
- ・学校では7月の全国模試と、9月のGTECを実施しているが、他にも無料で受けられる模試など利用してほ
しい。
- ・環境が語学には恵まれているので、模試の結果も英語は非常に高いが、数学は良くない。
- ・卒業生の進路は、フロンティアーズにまとめられてある。
- ・国立は口で目指すと言うのは簡単である。しかし実際にはとても難しいので早い段階からしっかり準備し
てほしい。
- ・上の年次へ進むと、個々の進路によって授業の時数が異なる。自分の進路を見極めて必要な科目を履修し
てほしい。

④質疑応答

Q 1. アルバイトをしている生徒はいるか？

A 1. 4名程の挙手。マクドナルドやケンタッキー、土日だけ結婚式場で働いているお子さんがいるとの
こと。

◆参加した保護者からの声◆

「網羅的に説明されており分かりやすかった」「子どもたちの様子を聞くことができ参考になった」「他の
方の悩みが共有されて参考になった」「生徒の個性がよく伝わった」「担任の先生が不在で残念」他

※アンケートへのご協力、ありがとうございました。いただいたご意見は、学年の先生方にお伝えします。

.....
年次部では随時メンバーを募集しています！ megumimoe@ezweb.ne.jp（石黒）までお気軽にメールを♪